

令和4年2月

第24回 鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果概要

「第24回鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)」を実施し、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

- 2021年7～9月期(前期)の業況は「横ばい」。
～新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いた。
- 2021年10～12月期(今期)の業況は「やや改善」。
～新型コロナウイルスの感染拡大が小康状態となり、業況D.I.は3期ぶりに改善した。
- 2022年1～3月期の業況は「やや悪化」となる見通し。

業況D.I.

○2021年7～9月期(前期)は▲35(良い<悪い)と、前々期(▲36)と横ばい。

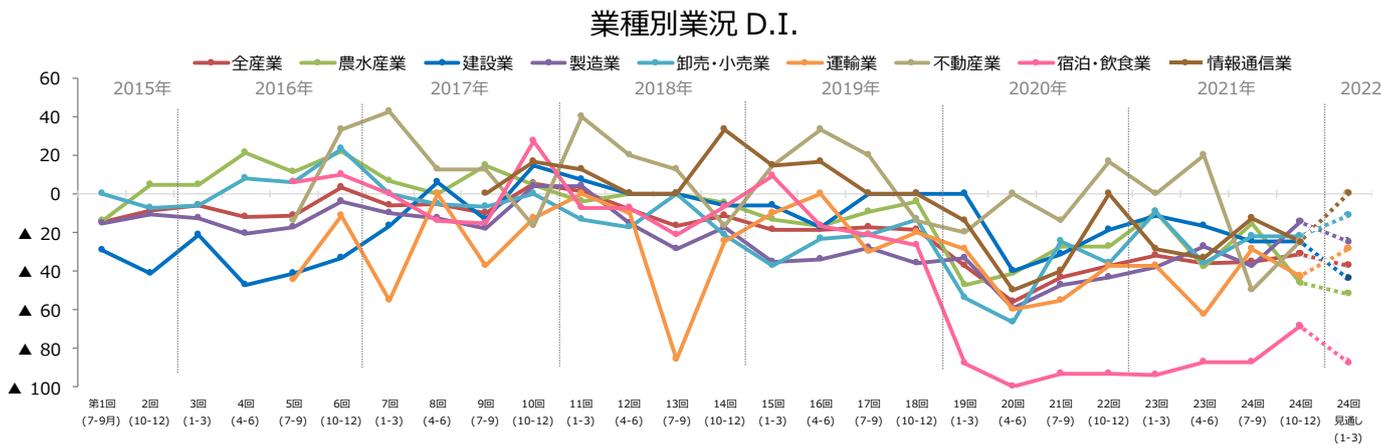
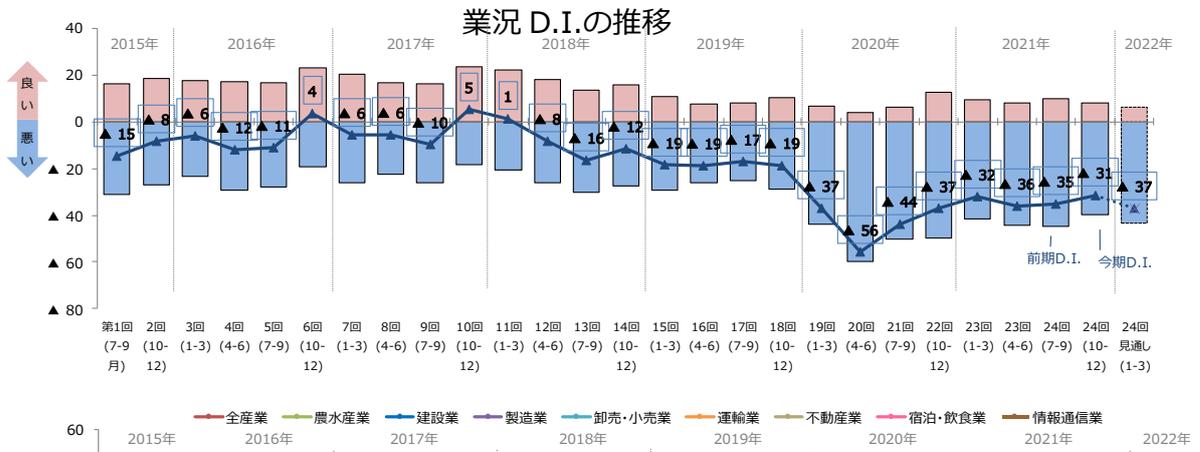
- 全体としては14期連続のマイナスで、調査開始以来(2015年7～9月期～2021年7～9月期)6番目に低い水準となった。
- 前年同期(▲44)と比較するとやや改善。
- 業種別では、コロナ禍による巣ごもり需要の拡大などから、運輸業(前々期▲63→前期▲29)、農水産業(前々期▲38→前期▲15)、情報通信業(前々期▲33→前期▲13)が大幅に改善した一方、不動産業(前々期20→前期▲50)が大幅に下落し、卸売・小売業(前々期▲27→前期▲38)が悪化した。

○2021年10～12月期(今期)は▲31(良い<悪い)と、前期(▲35)よりやや改善。

- 全体としては15期連続のマイナスで、調査開始以来(2015年7～9月期～2021年10～12月期)8番目に低い水準となった。
- 前年同期(▲37)と比較すると、やや改善。
- 業種別では、新型コロナウイルスの感染拡大が小康状態になった影響などから、不動産業(前期▲50→今期▲25)、製造業(前期▲38→今期▲15)が大幅に改善し、宿泊・飲食業(前期▲88→今期▲69)が改善した。

○2022年1～3月期(来期)は▲37(良い<悪い)と、今期(▲31)より、やや悪化する見通し。

- 前年同期(▲32)と比較すると、やや悪化。
- 業種別では、建設業(今期▲25→来期▲44)、宿泊・飲食業(今期▲69→来期▲88)、製造業(今期▲15→来期▲25)が悪化する見通し。



※ 上記は、業況 D.I.値の概況です。詳細は「鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果」を御覧ください。

概 況

業 況 D.I.	<p>○2021年7～9月期（前期）は▲35(良い<悪い)と、前々期(▲36)と横ばい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 全体としては14期連続のマイナスで、調査開始以来(2015年7～9月期～2021年7～9月期)6番目に低い水準となった。 ➢ 前年同期(▲44)と比較すると、やや改善。 ➢ 業種別では、コロナ禍による巣ごもり需要の拡大などから、運輸業(前々期▲63→前期▲29)、農水産業(前々期▲38→前期▲15)、情報通信業(前々期▲33→前期▲13)が大幅に改善した一方、不動産業(前々期20→前期▲50)が大幅に下落し、卸売・小売業(前々期▲27→前期▲38)が悪化した。 <p>○2021年10～12月期（今期）は▲31(良い<悪い)と、前期(▲35)より、<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 全体としては15期連続のマイナスで、調査開始以来(2015年7～9月期～2021年10～12月期)8番目に低い水準となった。 ➢ 前年同期(▲37)と比較すると、やや改善。 ➢ 業種別では、新型コロナウイルスの感染拡大が小康状態になった影響などから、不動産業(前期▲50→今期▲25)、製造業(前期▲38→今期▲15)が大幅に改善し、宿泊・飲食業(前期▲88→今期▲69)が改善した。 <p>○2022年1～3月期（来期）は▲37(良い<悪い)と、今期(▲31)より、<u>やや悪化</u>する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 前年同期(▲32)と比較すると、やや悪化。 ➢ 業種別では、建設業(今期▲25→来期▲44)、宿泊・飲食業(今期▲69→来期▲88)、製造業(今期▲15→来期▲25)が悪化する見通し。
生 産 高 D.I.	<p>○前期は▲18(増加<減少)と、前々期(▲24)より<u>やや改善</u>した。</p> <p>○今期は2(増加>減少)と、前期(▲18)より<u>大幅に改善</u>した。</p>
売 上 ・ 完 工 高 D.I.	<p>○前期は▲28(増加<減少)と、前々期(▲21)より<u>やや悪化</u>した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、宿泊・飲食業(前々期▲29→前期▲81)が大幅に悪化し、情報通信業(前々期29→前期0)が大幅に下落した。 <p>○今期は▲19(増加<減少)と、前期(▲28)より<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、製造業(前期▲27→今期▲2)、宿泊・飲食業(前期▲81→今期▲59)が大幅に改善し、卸売・小売業(前期▲40→今期▲30)が改善した。 <p>○来期は▲25(増加<減少)と、今期(▲19)より<u>やや悪化</u>する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、不動産業(今期20→来期▲25)が大幅に下落、建設業(今期▲35→来期▲53)が悪化する見通し。

製品・商品在庫 D.I.	<p>○前期の在庫の過不足感は「過剰」が6%、「適正」が76%、「不足」が18%、D.I.は▲13(過剰<不足)となり、前々期(▲13)と横ばい。</p> <p>○今期の在庫の過不足感は「過剰」が7%、「適正」が72%、「不足」が20%、D.I.は▲13(過剰<不足)となり、前期(▲13)と横ばい。</p>
製(商)品販売単価 D.I.	<p>○前期は▲11(上昇<下落)と、前々期(▲5)よりやや悪化。 ▶業種別では、卸売・小売業(前々期9→前期▲11)が大幅に下落し、製造業(前々期2→前期▲15)が下落、宿泊・飲食業(前々期▲14→前期▲31)が悪化した。</p> <p>○今期は▲7(上昇<下落)と、前期(▲11)よりやや改善。 ▶業種別では、宿泊・飲食業(前期▲31→今期▲14)が改善し、製造業(前期▲15→今期▲9)、建設業(前期▲6→今期0)、農水産業(前期▲20→今期▲16)がやや改善した。</p> <p>○来期は▲5(上昇<下落)と、今期(▲7)と横ばいの見通し。 ▶業種別では、不動産業(今期50→来期0)が大幅に下落した一方、卸売・小売業(今期▲11→来期11)が大幅に改善する見通し。</p>
原材料仕入単価 D.I.	<p>○前期は57(上昇>下落)と、前々期(51)よりやや上昇。 ▶業種別では、宿泊・飲食業(前々期43→前期80)が大幅に上昇し、不動産業(前々期40→前期50)が上昇した。</p> <p>○今期は72(上昇>下落)と、前期(57)より上昇。 ▶業種別では、建設業(前期53→今期80)、製造業(前期53→今期76)、農水産業(前期59→今期81)が大幅に上昇した。</p> <p>○来期は73(上昇>下落)と、今期(72)と横ばいの見通し。 ▶業種別では、卸売・小売業(今期20→来期44)が大幅に上昇する一方で、宿泊・飲食業(今期73→来期67)がやや下落する見通し。</p>
資金繰り D.I.	<p>○前期は▲20(楽<苦しい)と、前々期(▲20)と横ばい。 ▶業種別では、建設業(前々期▲26→前期▲6)が大幅に改善した一方、卸売・小売業(前々期18→前期0)、不動産業(前々期33→前期20)が下落した。</p> <p>○今期は▲26(楽<苦しい)と、前期(▲20)よりやや悪化。 ▶業種別では、建設業(前期▲6→今期▲31)が大幅に悪化、卸売・小売業(前期0→今期▲20)が大幅に下落した。</p> <p>○来期は▲27(楽<苦しい)と今期(▲26)と横ばいの見通し。 ▶業種別では、農水産業(今期▲26→来期▲31)、製造業(今期▲23→来期▲26)がやや悪化する一方、卸売・小売業(今期▲20→来期▲10)が改善する見通し。</p>

概 況

雇 用 人 員 D.I.

- 前期は▲42(過剰<不足)と、前々期(▲37)よりやや悪化。
 - 業種別では、運輸業(前々期▲38→前期▲75)、宿泊・飲食業(前々期▲12→前期▲41)、情報通信業(前々期▲29→前期▲50)が大幅に悪化した。
- 今期は▲49(過剰<不足)と、前期(▲42)よりやや悪化。
 - 業種別では、宿泊・飲食業(前期▲41→今期▲53)、卸売・小売業(前期▲20→今期▲30)、製造業(前期▲43→今期▲53)が悪化した。
 - 鹿屋公共職業安定所(鹿屋市、垂水市、肝属郡を管轄)の2021年11月の有効求人倍率は1.47倍となっている。11月の有効求人数(パート含む)は3,812人、有効求職者数(パート含む)は2,600人となっている。
- 来期は▲49(過剰<不足)と、今期(▲49)と横ばいの見通し。
 - 業種別では、不動産業(今期▲20→来期0)が大幅に改善し、運輸業(今期▲75→来期▲88)、情報通信業(今期▲50→来期▲63)が悪化する見通し。

損 益 D.I.

- 前期は▲32(好転<悪化)と、前々期(▲28)よりやや悪化。
 - 業種別では、情報通信業(前々期14→前期▲25)が大幅に下落し、卸売・小売業(前々期▲9→前期▲40)が大幅に悪化した。
- 今期は▲32(好転<悪化)と、前期(▲32)と横ばい。
 - 業種別では、宿泊・飲食業(前期▲82→今期▲53)が大幅に改善、不動産業(前期0→今期20)が大幅に上昇した一方、農水産業(前期▲18→今期▲46)が大幅に悪化した。
- 来期は▲36(好転<悪化)と、今期(▲32)よりやや悪化する見通し。
 - 業種別では不動産業(今期20→来期▲25)が大幅に下落し、製造業(今期▲12→来期▲27)、宿泊・飲食業(今期▲53→来期▲65)が悪化する見通し。

【調査概要】

- 1 調査対象： 市内事業所 179 先
〔 農水産業 35 先、建設業 22 先、製造業 55 先、卸売・小売業 19 先
不動産業 8 先、運輸業 11 先、宿泊・飲食業 21 先、情報通信業 8 先 〕
回答数：142 件 回答率：79.3%
- 2 調査時期： 2022 年 1 月
- 3 対象期間： 2021 年 7～9 月期実績(前期)、
2021 年 10～12 月期実績(今期)、
2022 年 1～3 月期見通し(来期)
- 4 調査方法： 郵送方式
- 5 集計方法： 回答数の構成比を求めた上で、「良い」の構成比から「悪い」の構成比を引いて「D.I.値」として指標化しました。
例えば、景況感の「良い」が 10%、「悪い」が 50%の場合、D.I.値は「▲40」となります。「D.I.」(Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。
- 6 質問項目： 業況、生産高、売上・完工高、在庫、販売単価、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益、今期損益の好転・悪化要因、自由意見

鹿屋市 市長公室政策推進課

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町 20 番 1 号
T E L : 0994-43-2111 F A X : 0994-42-2001
m a i l : seisaku@city.kanoya.lg.jp

第24回 鹿屋市短期経済観測調査（かのや短観）結果

※ 四捨五入の関係上、D.I.値(A-C)は一致しない場合がある。

(単位：%)

項目	2021年4~6月				2021年7~9月					2021年10~12月				2022年1~3月						
	前々期				前期					今期				来期見通し						
	状況	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	前回 調査時 前期	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)		
自社の業況(景況感)	8	48	44	▲36	10	46	45	▲35	▲37	8	52	40	▲31	6	51	43	▼	▲37		
農水産業	0	62	38	▲38	12	62	27	▲15	▲35	4	46	50	▼	▲46	0	48	52	▼	▲52	
建設業	11	61	28	▲17	6	63	31	▼	▲25	▲33	0	75	25	-	▲25	6	44	50	▼	▲44
製造業	10	53	37	▲27	13	38	50	▼	▲38	▲30	15	56	29	▲	▲15	6	63	31	▼	▲25
卸売・小売業	9	45	45	▲36	0	78	22	▲	▲22	▲36	11	56	33	-	▲22	11	67	22	▲	▲11
運輸業	0	38	63	▲63	29	14	57	▲	▲29	▲63	14	29	57	▼	▲43	14	43	43	▲	▲29
不動産業	40	40	20	▲20	0	50	50	▼	▲50	▲20	0	75	25	▲	▲25	33	33	33	▲	▲29
宿泊・飲食業	0	13	88	▲88	0	13	88	-	▲88	▲67	0	31	69	▲	▲69	0	13	88	▼	▲88
情報通信業	17	33	50	▲33	13	63	25	▲	▲13	▲50	13	50	38	▼	▲25	13	75	13	▲	0
生産高(製造業)	18	40	42	▲24	20	41	39	▲18	▲24	27	48	25	▲	2	19	56	25	▼	▲6	
売上・完工高	21	37	42	▲21	17	38	45	▲28	▲35	19	42	39	▲	19	13	49	38	▼	▲25	
農水産業	22	39	39	▲17	14	57	29	▲	▲14	▲42	11	54	36	▼	▲25	0	68	32	▼	▲32
建設業	16	47	37	▲21	12	47	41	▼	▲29	▲42	12	41	47	▼	▲35	6	35	59	▼	▲53
製造業	22	36	42	▲20	22	29	49	▼	▲27	▲31	30	38	32	▲	▲2	19	51	30	▲	▲11
卸売・小売業	18	27	55	▲36	0	60	40	▼	▲40	▲18	10	50	40	▲	▲30	10	60	30	▲	▲20
運輸業	0	38	63	▲63	25	38	38	▲	▲13	▲71	38	13	50	-	▲13	38	38	25	▲	13
不動産業	33	50	17	▲17	60	0	40	▼	▲20	0	40	40	20	-	▲20	25	25	50	▼	▲25
宿泊・飲食業	24	24	53	▲29	0	19	81	▼	▲81	▲41	0	41	59	▲	▲59	6	24	71	▼	▲65
情報通信業	43	43	14	▲29	25	50	25	▼	0	▲29	25	50	25	-	0	25	63	13	▲	13
製品・商品在庫(適正水準比)	多い	妥当	少ない	▲13	多い	妥当	少ない	▲13		多い	妥当	少ない	▼	▲13						
農水産業	0	86	14	▲14	7	81	11	▲	▲4		11	70	19	▼	▲7					
建設業	0	67	33	▲33	0	64	36	▼	▲36		0	50	50	▼	▲50					
製造業	8	76	16	▲8	6	79	15	▼	▲8		6	81	13	▲	▲6					
卸売・小売業	18	73	9	▲9	10	50	40	▼	▲30		20	40	40	▲	▲20					
運輸業	0	60	40	▲40	0	100	0	▲	0		0	100	0	-	0					
不動産業	20	60	20	▲20	0	50	50	▼	▲50		0	50	50	-	▲50					
宿泊・飲食業	0	60	40	▲40	0	87	13	▲	▲13		6	81	13	▲	▲6					
情報通信業	50	50	0	▲50	17	83	0	▼	17		0	100	0	▼	0					
製(商)品販売単価	上昇	横ばい	低下	▲5	上昇	横ばい	低下	▼	▲11	▲8	10	横ばい	低下	▲	▲7	13	69	18	▲	▲5
農水産業	9	64	27	▲27	4	72	24	▼	▲20	▲22	8	68	24	▲	▲16	4	56	40	▼	▲36
建設業	18	65	18	▲18	0	61	13	▼	▲6	▲13	19	63	19	▲	0	20	60	20	▼	0
製造業	10	82	8	▲8	6	72	21	▼	▲15	▲4	9	74	17	▲	▲9	18	68	14	▲	5
卸売・小売業	18	73	9	▲9	11	67	22	▼	▲11	0	11	67	22	-	▲11	22	67	11	▲	11
運輸業	0	50	50	▲50	33	67	0	▲	33	▲50	17	67	17	▼	0	17	67	17	-	0
不動産業	20	80	0	▲80	0	50	50	▲	50	60	50	50	0	-	50	0	100	0	▼	0
宿泊・飲食業	7	71	21	▲21	0	69	31	▼	▲31	0	0	86	14	▲	▲14	7	86	7	▲	0
情報通信業	0	100	0	▲100	0	100	0	-	0	▲14	0	100	0	-	0	0	100	0	-	0
原材料仕入単価	上昇	横ばい	低下	▲51	上昇	横ばい	低下	▲	57	52	72	横ばい	低下	▲	72	74	25	1	▲	73
農水産業	65	35	0	▲65	59	41	0	▼	59	67	81	19	0	▲	81	81	19	0	▲	81
建設業	53	47	0	▲53	53	47	0	▲	53	53	80	20	0	▲	80	80	20	0	-	80
製造業	47	51	2	▲47	55	43	2	▲	53	51	76	24	0	▲	76	75	25	0	▼	75
卸売・小売業	30	60	10	▲30	30	60	10	-	20	10	30	60	10	-	20	56	33	11	▲	44
運輸業	100	0	0	▲100	100	0	0	-	100	100	100	0	0	-	100	100	0	0	-	100
不動産業	40	60	0	▲40	50	50	0	▲	50	60	50	50	0	-	50	0	67	33	0	▲
宿泊・飲食業	50	43	7	▲43	80	20	0	▲	80	36	73	27	0	▼	73	67	33	0	▲	67
情報通信業	80	20	0	▲80	50	50	0	▼	50	60	50	50	0	-	50	50	50	0	-	50
資金繰り	楽	普通	苦しい	▲20	楽	普通	苦しい	▲	20	▲24	5	64	31	▼	▲26	5	62	32	▼	▲27
農水産業	9	70	22	▲22	4	81	15	▲	▲11	▲17	4	67	30	▼	▲26	4	62	35	▼	▲31
建設業	0	74	26	▲26	6	81	13	▲	▲6	▲26	6	56	38	▼	▲31	0	69	31	-	▲31
製造業	2	76	22	▲22	4	69	27	▼	▲23	▲25	2	73	25	-	▲23	2	70	28	▼	▲26
卸売・小売業	18	82	0	▲82	10	80	10	▼	0	9	10	60	30	▼	▲20	10	70	20	▲	▲10
運輸業	0	57	43	▲43	0	50	50	▼	▲50	▲57	0	50	50	-	▲50	0	50	50	-	▲50
不動産業	33	67	0	▲67	20	80	0	▼	20	17	20	80	0	-	20	25	75	0	▲	25
宿泊・飲食業	0	41	59	▲59	6	29	65	-	▲59	▲59	6	35	59	▲	▲53	6	35	59	-	▲53
情報通信業	14	57	29	▲29	13	75	13	▲	0	▲14	13	88	0	▲	13	25	63	13	-	13
雇用人員	過剰	適正	不足	▲37	過剰	適正	不足	▼	▲42	▲44	0	51	49	▼	▲49	1	49	50	▲	▲49
農水産業	9	61	30	▲30	0	74	26	▼	▲26	▲21	0	67	33	▼	▲33	0	63	37	▼	▲37
建設業	0	21	79	▲79	0	35	65	▲	▲65	▲74	0	35	65	-	▲65	0	41	59	▲	▲59
製造業	8	45	47	▲47	6	45	49	▼	▲43	▲52	0	47	53	▼	▲53	4	41	55	▲	▲51
卸売・小売業	0	64	36	▲36	10	60	30	▲	▲20	▲36	0	70	30	▼	▲30	0	70	30	-	▲30
運輸業	13	38	50	▲38	0	25	75	▼	▲75	▲50	0	25	75	-	▲75	0	13	88	▼	▲88
不動産業	0	67	33	▲33	0	80	20	▲	▲20	▲17	0	80	20	-	▲20	0	100	0	▲	0
宿泊・飲食業	18	53	29	▲29	0	59	41	▼	▲41	▲29	0	47	53	▼	▲53	0	53	47	▲	▲47
情報通信業	14	43	43	▲43	0	50	50	▼	▲50	▲43	0	50	50	-	▲50	0	38	63	▼	▲63
損益	好転	横ばい	悪化	▲28	好転	横ばい	悪化	▼	▲32	▲26	8	53	39	-	▲32	6	53	41	▼	▲36
農水産業	9	41	50																	